

教育に関する事務の管理及び執行状況の 点検及び評価報告書（令和2年度分）

津久見市教育委員会

はじめに

教育の政治的中立、継続性・安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、市長との連携強化を図るとともに、地方に対する国の関与の見直しを図る目的で、平成 27 年 4 月 1 日から、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部が改正されました。これにより、教育委員長と教育長を一本化した新「教育長」が設置されるとともに、すべての地方公共団体に「総合教育会議」が位置付けられました。

新教育委員会制度では、市長が直接教育長を任命することにより、任命責任が明確化するとともに、総合教育会議を市長が招集することにより、市長が教育行政に果たす役割が明確になりました。このように、教育委員会制度が新しくなったことで、地方公共団体としての教育施策に関する方向性が明確になったといえます。

本市教育の基本理念としては、本市には豊かな自然や歴史・文化・産業、世界的に稀な地質資源など多様な資源があります。これらを次の世代に受け継ぎ、さらに魅力的な地域として発展していくことを目指し、郷土への愛着や誇りを持ち、グローバル化の進展に対応するため、生涯を通して学び続けることが必要です。

そのために、学校と家庭・地域が一体となった教育環境の中で、生きる力の基盤となる確かな学力の育成「知」を核として、心の豊かさを育む「徳」、体育・健康教育「体」の調和を基本に捉えるとともに、ふるさとを愛し、自ら学ぶ意欲と活力に満ちた津久見っ子の育成を図っていきます。また、生涯の各期に応じた多様な学習機会を提供し、地域の伝統文化の伝承や芸術・スポーツ活動等を通して、心豊かなひとを育てるまちづくりを推進します。

本報告書の作成の目的は、平成 20 年度に「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等」を実施することが義務付けられたことを機に、教育委員会で「津久見市の教育に関する事務の点検・評価の基本方針」を定め、事務の管理及び執行の状況について、「第 5 次津久見市総合計画前期基本計画進ちょく状況に係る意見交換会」を活用して報告書を毎年作成することで、問題点の把握及び解決に努めることと認識しています。教育委員会の事務事業について、より一層ご理解を深めていただくものであることを希望するとともに、「郷土を想う心の豊かなひとを育てるまち」となるために更なるご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

津久見市教育委員会

目 次

I	点検・評価にあたって	
1	津久見市の教育に関する事務の点検・評価の基本方針	・・・ 4
2	点検及び評価報告書の作成	・・・ 5
3	教育委員会の組織	・・・ 5～ 6
4	教育委員会の開催状況	・・・ 6～ 7
5	総合教育会議の開催	・・・ 7
II	教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価	
1	施策の体系	・・・ 8～ 9
2	各施策の点検及び評価	
(1)	学校教育の充実	・・・ 10～23
(2)	社会教育の充実	・・・ 24～27
(3)	スポーツ・レクリエーション活動の推進	・・・ 28～29
(4)	青少年の健全育成	・・・ 30～33
(5)	地域文化の伝承と芸術文化活動の充実	・・・ 34～37

I 点検・評価にあたって

1 津久見市の教育に関する事務の点検・評価の基本方針

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条に基づき、津久見市教育委員会が実施する「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」について、次のとおり行うものとする。

(1) 評価の時期・対象

毎年度、教育委員会が前年度に実施した事務事業において、下記(2)の①及び②の項目について点検・評価を行う。

(2) 点検・評価の項目

① 津久見市総合計画における教育委員会所管項目の「施策」について点検・評価を行う。

ア テーマ毎に「施策の方向」を設け、「計画内容及び主要な施策」ごとに当該年度の具体的な実施状況を点検・評価する。

イ 当該年度の進捗状況を目標値と比較し、AからEまでランクを付けて評価を行う。

② その他、教育施策上の重要課題

(3) 点検・評価の指標

点検・評価を行うにあたっては、津久見市総合計画進ちょく状況に係る意見交換会委員による同意見交換会の知見を活用するものとする。

(4) 点検・評価のスケジュール

- ・2月 当該年度事務のマネージメントシートを更新（自己点検・評価）
- ・3月 市総合計画進ちょく状況に係る意見交換会による点検・評価
- ・6月～7月 報告書の作成
- ・8月 教育委員会定例会で報告書を決定（議決）
- ・9月 市議会に報告、公表

(5) 市議会への報告、公表について

① 市議会への報告

教育委員会が決定した点検・評価の報告書は、市議会に提出するものとする。

② 公表の方法

点検・評価結果の報告書は、市議会に提出した後、教育委員会のホームページで公表する。

(6) 点検・評価結果の反映

点検・評価結果については、教育行政に適切に反映させ、教育行政の運営の効率化及び質の向上を図るものとする。

(7) その他

点検・評価の項目、報告書の様式、市議会への提出（報告）の方法等については、各教育委員会が実情を踏まえて決めることになっているため、市議会や委員会、市の意見を参考にしながら随時改善していくこととする。

2 点検及び評価報告書の作成

平成 28 年 3 月に策定された「第 5 次津久見市総合計画」（平成 28 年度～令和 7 年度）に掲げる基本計画第 2 章「郷土を想う心の豊かなひとを育てるまち」第 1 節学校教育の充実、第 2 節社会教育の充実、第 3 節スポーツ・レクリエーション活動の推進、第 4 節青少年の健全育成、第 5 節地域文化の伝承と芸術文化活動の充実にかかる事務事業ごとに、令和 2 年度中の活動状況を点検し、これを評価する方法により実施する。

(1) 記入方法

- ① 施策名・・・総合計画の「施策名」を記入する。
- ② 施策の方向・・・総合計画の「施策の方向」を記入する。
- ③ 計画内容及び主要な施策・・・総合計画の「計画内容及び主要な施策」を記入する。
- ④ 課題等・・・昨年度から引き続き課題等となっているものを記入する。
- ⑤ 取組状況等・・・実際に行った取組状況等を記入する。

(2) 施策指標の評価

目標値に対する進ちよく状況の「評価」を次の区分により記入する。

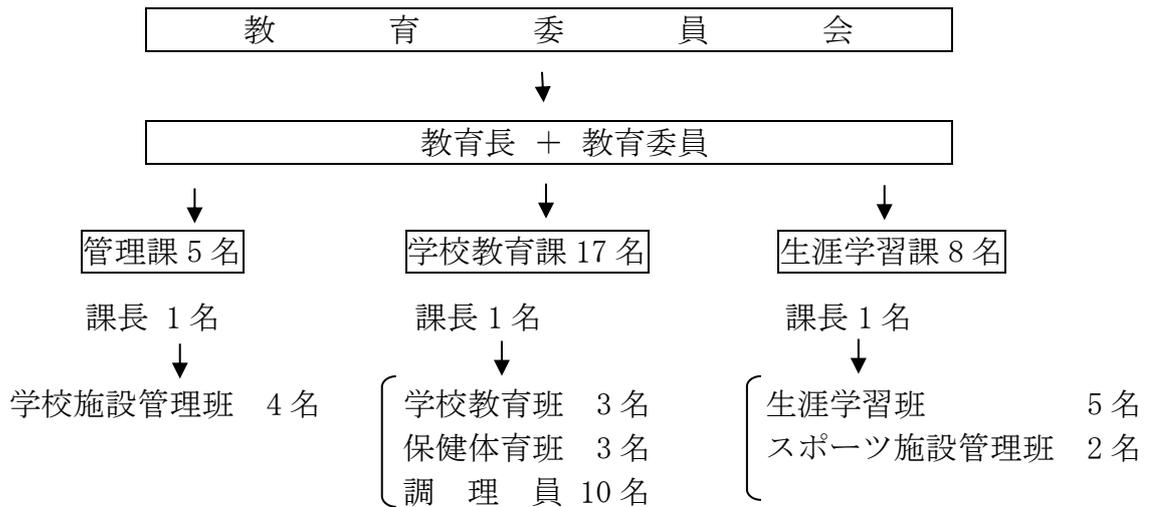
- A：目標値に達成した（100%）
- B：概ね目標値に達成した（100%未満～75%以上）
- C：目標値に達成してない部分がある（75%未満～50%以上）
- D：ほぼ目標値に達成してない（50%未満～25%以上）
- E：全く目標値に達成してない（25%未満）

3 教育委員会の組織

(1) 教育委員会委員

職名	氏名	就任年月日	任期
教育長	平山正雄	平成 25 年 11 月 9 日	令和 2 年 11 月 9 日 ～令和 5 年 11 月 8 日
教育長 職務代理	金田貞喜	平成 27 年 10 月 1 日	令和元年 10 月 1 日 ～令和 5 年 9 月 30 日
委員	佐藤裕子	平成 28 年 12 月 7 日	令和 2 年 12 月 7 日 ～令和 6 年 12 月 6 日
委員	深井辰海	平成 30 年 10 月 1 日	平成 30 年 10 月 1 日 ～令和 4 年 9 月 30 日
委員	田島岳自	令和 2 年 12 月 7 日	令和 2 年 12 月 7 日 ～令和 6 年 12 月 6 日

(2) 教育委員会体制



4 教育委員会の開催状況

期 日	議 案 等
4月27日 (定例会)	議案第1号 区域外通(就)学児童生徒の特例の認定について 議案第2号 区域外通(就)学児童生徒の特例の認定について 継続協議 第一中学校・第二中学校統合についての協議
5月25日 (定例会)	議案第3号 津久見地区教科用図書選定委員会設置要綱について 継続協議 第一中学校・第二中学校統合についての協議
6月25日 (定例会)	議案第4号 津久見市学齢児童生徒就学援助規則の一部改正について 継続協議 第一中学校・第二中学校統合についての協議
7月27日 (臨時)	津久見市中学校教科用図書の採択について
7月27日 (定例会)	議案第5号 津久見市立学校管理規則の一部改正について 議案第6号 区域外通(就)学児童生徒の特例の認定について 継続協議 第一中学校・第二中学校統合についての協議
8月25日 (定例会)	議案第7号 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書について 継続協議 第一中学校・第二中学校統合についての協議
9月28日 (定例会)	議案第8号 津久見市外国語指導助手任用規則の一部改正について 議案第9号 区域外通(就)学児童生徒の特例の認定について 継続協議 第一中学校・第二中学校統合についての協議
10月26日 (定例会)	議案第10号 区域外通(就)学児童生徒の特例の認定について 継続協議 第一中学校・第二中学校統合についての協議
11月25日 (定例会)	議案第11号 保戸島中学校の開校について 議案第12号 津久見市立学校職員服務規程の一部改正について 議案第13号 区域外通(就)学児童生徒の特例の認定について 継続協議 第一中学校・第二中学校統合についての協議
12月25日 (定例会)	議案第14号 津久見市立学校職員の公務旅行における自家用車使用に関する取扱要領の一部改正について 議案第15号 区域外通(就)学児童生徒の特例の認定について 継続協議 第一中学校・第二中学校統合についての協議

1月27日 (定例会)	継続協議	第一中学校・第二中学校統合についての協議
2月25日 (定例会)	議案第16号 議案第17号 議案第18号 議案第19号 議案第20号 議案第21号 議案第22号 議案第23号 議案第24号 議案第25号 継続協議	令和3年度当初予算案の概要について 津久見市指定文化財の指定について 津久見市教育委員会事務局組織規則の一部改正について 区域外通(就)学児童生徒の特例の認定について 区域外通(就)学児童生徒の特例の認定について 区域外通(就)学児童生徒の特例の認定について 区域外通(就)学児童生徒の特例の認定について 区域外通(就)学児童生徒の特例の認定について 区域外通(就)学児童生徒の特例の認定について 区域外通(就)学児童生徒の特例の認定について 第一中学校・第二中学校統合についての協議
3月25日 (臨時)		令和3年度津久見市小中学校「教職員人事異動(案)」について
3月25日 (定例会)	議案第26号 議案第27号 議案第28号 議案第29号 議案第30号 継続協議	第2次津久見子ども読書活動推進計画について 中学校統合に伴う津久見市新設中学校施設改修等設計業務に係るプロポーザル審査委員会設置要綱(案)について 区域外通(就)学児童生徒の特例の認定について 区域外通(就)学児童生徒の特例の認定について 区域外通(就)学児童生徒の特例の認定について 第一中学校・第二中学校統合についての協議

5 総合教育会議の開催

期 日	協 議 事 項	開催場所
2月16日	津久見高校との連携について 1. 津久見高校の現状・活動報告 2. これからの連携・支援について	津久見市教育委員会 2階会議室

出席者：市長、教育長、教育委員4名、津久見高校教頭

II 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価

1 施策の体系

施策名	計画内容及び主要な施策	施策指標	担当課	シートNo.
学校教育の 充実	確かな学力を育む教育の 推進	指導者用端末の整備	管理課	1-1-①
		児童生徒 1 人 1 台学習用端末の整備	管理課	1-1-②
		校内LANの整備	管理課	1-1-③
		全国学力調査 平均正答率との差（小学校）	学校教育課	1-1-④
		全国学力調査平均 正答率との差（中学校）	学校教育課	1-1-⑤
	健やかな体を育む教育の 推進	体力・運動能力調査 小学生全国平均以上の割合	学校教育課	1-2-①
		体力・運動能力調査 中学生全国平均以上の割合	学校教育課	1-2-②
	豊かな心を育む教育の推 進	人権・同和教育研修会開催回数	学校教育課	1-3-①
	地域とともにある学校づ くり	学校・家庭・地域の「協働」に取り 組む学校数 市内中学生の津久見高校への進学率	学校教育課	1-4-①
	社会教育の 充実	学習機会の創出	公民館利用状況	生涯学習課
公民館教室数			生涯学習課	2-1-②
市民に愛される図書館づ くり		蔵書貸出数	生涯学習課	2-2-①
学術交流活動の推進		地質資源の講演回数	生涯学習課	2-3-①
スポーツ・ レクリエー ション活動 の推進	生涯スポーツ・レクリエ ーションの推進	総合型地域スポーツクラブ参加人数	生涯学習課	3-1-①
	競技スポーツの強化推進	施設利用者数	生涯学習課	3-2-①
青少年の健 全育成	健全な家庭環境づくり	非行少年等の補導件数	生涯学習課	4-1-①
	学校教育と連携した地域 ぐるみの育成活動	子ども連絡所設置箇所数	生涯学習課	4-2-①
		土曜寺子屋つくみ塾	生涯学習課	4-2-②
	青少年の見守り活動の充 実	学校支援ボランティア数	生涯学習課	4-3-①

地域文化の 伝承と芸術	市民の文化・芸術活動の 支援	観劇会イベント参加者数	生涯学習課	5-1-①
		市民会館利用状況	生涯学習課	5-1-②
文化活動の 充実	伝統文化及び文化財の保 存と継承	文化団体数	生涯学習課	5-2-①
	文化施設の有効活用	指定文化財	生涯学習課	5-3-①

2 各施策の点検及び評価

令和2年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 1-1-①

		担当課	管理課
施策名	学校教育の充実		
施策の方向	<p>幼児期の教育・保育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う極めて重要なものです。そのため、子どものことを第一に考えながら、質の高い教育・保育の提供、保護者や地域の教育力向上の支援を行うとともに、教育・保育の一体的な運営の推進を図ります。</p> <p>学校教育においては、子どもたちが確かな学力、豊かな心と健やかな体を育成することのできる社会を実現するとともに、信頼される学校・特色ある学校づくりを進めます。</p> <p>さらに学校・家庭・地域が協働し、より一層、開かれた学校づくりを推進します。</p>		
計画内容及び主要な施策	<p>(1) 幼児教育の充実</p> <p>② 確かな学力を育む教育の推進</p> <p>(3) 健やかな体を育む教育の推進</p> <p>(4) 豊かな心を育む教育の推進</p> <p>(5) 地域とともにある学校づくり</p>		

1. 施策指標の進ちょく状況 (指標が複数ある場合は、1指標ごとに作成してください。)

評価	施策指標の名称	単位	R1 年度	R2 年度	R2 目標値	説明等
A	指導者用端末の整備	台	50		—	プログラミング教育やICTを活用した学習活動のための指導者用端末の整備を行う。

2. 課題等

○プログラミング教育やICTを活用した学習活動の実施

令和2年度から実施される「新学習指導要領」において、プログラミング教育が必修化される。児童生徒がコンピュータで文字を入力するなどの学習の基盤として必要となる情報手段の基本的な操作を習得するための学習活動に加え、プログラミングを体験しながら、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身に付けるための学習活動を計画的に実施するため、学校のICT環境整備を図る。

3. 取組状況等

○プログラミング教育のための指導者用端末の整備

令和2年度から実施されるプログラミング教育やICTを活用した学習活動の充実に向け、各学校へ指導者用タブレットの整備を行った。タブレットを活用した授業ができることで、授業での利便性が上がり、大型テレビに映すことで児童生徒が見やすくなるなどわかりやすい授業を展開している。

令和2年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 1-1-②

		担当課	管理課
施策名	学校教育の充実		
施策の方向	<p>幼児期の教育・保育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う極めて重要なものです。そのため、子どものことを第一に考えながら、質の高い教育・保育の提供、保護者や地域の教育力向上の支援を行うとともに、教育・保育の一体的な運営の推進を図ります。</p> <p>学校教育においては、子どもたちが確かな学力、豊かな心と健やかな体を育成することのできる社会を実現するとともに、信頼される学校・特色ある学校づくりを進めます。</p> <p>さらに学校・家庭・地域が協働し、より一層、開かれた学校づくりを推進します。</p>		
計画内容及び主要な施策	<p>(1) 幼児教育の充実</p> <p>② 確かな学力を育む教育の推進</p> <p>(3) 健やかな体を育む教育の推進</p> <p>(4) 豊かな心を育む教育の推進</p> <p>(5) 地域とともにある学校づくり</p>		

1. 施策指標の進ちょく状況 (指標が複数ある場合は、1指標ごとに作成してください。)

評価	施策指標の名称	単位	R1年度	R2年度	R2目標値	説明等
A	児童生徒1人1台学習用端末の整備	台	—	1,003	200	GIGA スクール構想の実現に向けたICT環境の整備を行う。

2. 課題等

○GIGA スクール構想の実現に向けたICT環境の整備

令和元年度12月にGIGA スクール構想が発表され、このGIGA スクール構想は、小中学校において「1人1台の学習用端末」と「高速大容量の通信」を令和5年度までに一体的に整備することを目指している。児童生徒の情報活用能力を育てるとともに、情報手段を適切かつ主体的に活用できるようICTを活用した情報教育の充実を図るため、1人1台の学習用端末整備や普通教室における無線LANの整備等計画的な学校のICT環境整備を図る。

3. 取組状況等

○児童生徒1人1台学習用端末の整備

すべての小中学校で、1人1台の学習用端末(タブレット)の整備を行った。授業においてICTを効果的に活用できるようになり、わかりやすい授業を展開するとともに児童生徒の情報活用能力の育成を図っていく。

また、ICTプロジェクト会議を定期的開催し、教職員研修や有効な活用に向けた課題などの協議を行っている。

令和2年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 1-1-③

		担当課	管理課
施策名	学校教育の充実		
施策の方向	<p>幼児期の教育・保育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う極めて重要なものです。そのため、子どものことを第一に考えながら、質の高い教育・保育の提供、保護者や地域の教育力向上の支援を行うとともに、教育・保育の一体的な運営の推進を図ります。</p> <p>学校教育においては、子どもたちが確かな学力、豊かな心と健やかな体を育成することのできる社会を実現するとともに、信頼される学校・特色ある学校づくりを進めます。</p> <p>さらに学校・家庭・地域が協働し、より一層、開かれた学校づくりを推進します。</p>		
計画内容及び主要な施策	<p>(1) 幼児教育の充実</p> <p>② 確かな学力を育む教育の推進</p> <p>(3) 健やかな体を育む教育の推進</p> <p>(4) 豊かな心を育む教育の推進</p> <p>(5) 地域とともにある学校づくり</p>		

1. 施策指標の進ちょく状況 (指標が複数ある場合は、1指標ごとに作成してください。)

評価	施策指標の名称	単位	R1年度	R2年度	R2目標値	説明等
A	校内LANの整備	校	—	7	7	高速で安定したネットワークの整備を行う。

2. 課題等

○GIGA スクール構想の実現に向けたICT環境の整備

令和元年度12月にGIGA スクール構想が発表され、このGIGA スクール構想は小中学校において「1人1台の学習端末」と「高速大容量の通信」を令和5年度までに一体的に整備することを目指している。児童生徒の情報活用能力を育てるとともに、情報手段を適切かつ主体的に活用できるようICTを活用した情報教育の充実を図るため、1人1台の学習端末整備や普通教室における無線LANの整備等計画的な学校のICT環境整備を図る。

3. 取組状況等

○校内LANの整備

動画教材を利用した授業やプログラミング教育など大量のデータ通信を必要とし、一度に多くの児童生徒が利用することから、より高速で安定したネットワークの整備が求められている。すべての小中学校でネット環境が整備できるよう、校内LANの整備を行い、普通教室や特別教室で、デジタル教材を活用した授業を行うことが可能となった。

令和2年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 1-1-④

		担当課	学校教育課
施策名	学校教育の充実		
施策の方向	<p>幼児期の教育・保育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う極めて重要なものです。そのため、子どものことを第一に考えながら、質の高い教育・保育の提供、保護者や地域の教育力向上の支援を行うとともに、教育・保育の一体的な運営の推進を図ります。</p> <p>学校教育においては、子どもたちが確かな学力、豊かな心と健やかな体を育成することのできる社会を実現するとともに、信頼される学校・特色ある学校づくりを進めます。</p> <p>さらに学校・家庭・地域が協働し、より一層、開かれた学校づくりを推進します。</p>		
計画内容及び主要な施策	<p>(1) 幼児教育の充実</p> <p>(2) 確かな学力を育む教育の推進</p> <p>(3) 健やかな体を育む教育の推進</p> <p>(4) 豊かな心を育む教育の推進</p> <p>(5) 地域とともにある学校づくり</p>		

1. 施策指標の進ちょく状況（指標が複数ある場合は、1指標ごとに作成してください。）

評価	施策指標の名称		単位	R1年度	R2年度	R2目標値	説明等
未	全国学力調査平均 正答率との差 (小学校)	国語 算数	%	-0.8 -2.6	未実施	全国平均値を上回る	令和2年度は、コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休業の措置を取り、未実施。

2. 課題等（令和2年度 各校学力向上プラン 振り返りより）

○コロナ禍ではあったが、授業力向上支援教員や習熟度別指導推進教員が携わる各校の公開授業に約79%の教員が2回以上参加できた。

○主体的・対話的な学びへの取組も工夫され、考えを深め合う活動にも取り組む学校も多かった結果、目標値にも到達することができている。

○児童からの「授業の内容がよくわかる」という肯定的な回答は多く、低学力層と言われる児童の割合は各小学校で10%以下となっている。

○読解力を課題としている学校が多い。思考力・判断力・表現力を培う言語活動にも取り組み、読み取った内容を参考にして自分の考えをまとめ、それを人前で説明する活動を充実させる必要がある。

○問題文を読み、問われていることは何かをとらえることができるようになってきているが、そのためどうすればよいかという見通しをもつことが苦手な子が多い。

3. 取組状況等

○学力向上プロジェクト教員等を中心とした、思考力・判断力・表現力を高める授業づくり。

○授業改善の5点セット等のツール等を活用し、本年度実施してきた教育活動と効果について検証し、課題を明確にして次年度に向けた各種プランを作成する。

○市の学力向上に係る研修会の充実。

○市独自の学力調査の実施（小1～中2）

令和2年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 1-1-⑤

		担当課	学校教育課
施策名	学校教育の充実		
施策の方向	<p>幼児期の教育・保育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う極めて重要なものです。そのため、子どものことを第一に考えながら、質の高い教育・保育の提供、保護者や地域の教育力向上の支援を行うとともに、教育・保育の一体的な運営の推進を図ります。</p> <p>学校教育においては、子どもたちが確かな学力、豊かな心と健やかな体を育成することのできる社会を実現するとともに、信頼される学校・特色ある学校づくりを進めます。</p> <p>さらに学校・家庭・地域が協働し、より一層、開かれた学校づくりを推進します。</p>		
計画内容及び主要な施策	<p>(1) 幼児教育の充実</p> <p>② 確かな学力を育む教育の推進</p> <p>(3) 健やかな体を育む教育の推進</p> <p>(4) 豊かな心を育む教育の推進</p> <p>(5) 地域とともにある学校づくり</p>		

1. 施策指標の進ちょく状況（指標が複数ある場合は、1指標ごとに作成してください。）

評価	施策指標の名称	単位	R1年度	R2年度	R2目標値	説明等
未	全国学力調査平均正答率との差 (中学校)	国語 数学	% %	-4.8 -2.8	未実施 全国平均値を上回る	令和2年度は、コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休業の措置を取り、未実施。

2. 課題等（令和2年度 各校学力向上プラン 振り返りより）

- 「漢字を書く」については他の項目を比べても正答率が低い。
- 社会においては、「活用」に関する「社会的な思考・判断・表現」の力を伸ばす必要がある。
- 英語は「語彙の知識・理解」の正答率が他と比べると低いので、補充する必要がある。
- 家庭学習の習慣化ができていないために取組が不十分な生徒が多く、基礎基本的な知識や技能の定着に課題が残る生徒が多い。
- 「対話的な学び」を取り入れた授業を実践してきたことで、自分の考えをもったり、お互いの考えを比べたりする生徒が多くなったが、それを自分の言葉で発表したり、書いたりできるようにすることが課題である。
- 問題設定のねらいと問われていることを読み取る力を高める必要がある。
- 複数の資料等をつなげて考える力、考えた内容を文章で表現する力を高める必要がある。
- 活用問題に必要な力（読解力、情報分析処理能力、説明力）の獲得に課題がある。
- 個別指導を充実させる必要がある。

3. 取組状況等

- 学校の組織的な授業改善による「新大分スタンダード」の徹底。（「振り返り」の定着など）
- 活用力の向上を目指し、各教科で論理的な記述や発表・意見交換等の言語活動の場を設定する。
- 校内研究を核とした「生徒による授業点検」と「生徒会アンケート」に基づいた「生徒と先生で共に創る授業」の実践を推進する。「生徒と共に創る授業」の推進。
- 問題解決的な展開の授業の実践。

- 単元計画表に基づきながら「つきたい力」を明確にし、それが評価できる「振り返り」を位置付けた授業の実施。
- 習熟度別指導の推進。及び低学力層に向けた具体的な取組と検証・改善。
- 補充学習と定期的な放課後個別指導の実施。
- 家庭での生活時間を改善し、家庭学習の習慣を定着させる。

令和2年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 1-2-①

		担当課	学校教育課
施策名	学校教育の充実		
施策の方向	<p>幼児期の教育・保育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う極めて重要なものです。そのため、子どものことを第一に考えながら、質の高い教育・保育の提供、保護者や地域の教育力向上の支援を行うとともに、教育・保育の一体的な運営の推進を図ります。</p> <p>学校教育においては、子どもたちが確かな学力、豊かな心と健やかな体を育成することのできる社会を実現するとともに、信頼される学校・特色ある学校づくりを進めます。</p> <p>さらに学校・家庭・地域が協働し、より一層、開かれた学校づくりを推進します。</p>		
計画内容及び主要な施策	<p>(1) 幼児教育の充実</p> <p>(2) 確かな学力を育む教育の推進</p> <p>③ 健やかな体を育む教育の推進</p> <p>(4) 豊かな心を育む教育の推進</p> <p>(5) 地域とともにある学校づくり</p>		

1. 施策指標の進ちょく状況（指標が複数ある場合は、1指標ごとに作成してください。）

評価	施策指標の名称	単位	R1年度	R2年度	R2目標値	説明等
未	体力・運動能力調査 小学生全国平均以上の割合	%	47.9	未実施	60以上	令和2年度は、コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休業の措置を取り、未実施。

2. 課題等（令和元年度 体力運動能力等調査・令和2年度 各校体力向上プランより）

○令和元年度 児童生徒・学校質問紙調査結果

小学生(5年)		男子	女子
運動が好き	60.9% ◎	44.2% ▲	
体育の授業楽しい	60.9% ◎	54.7% ▲	
体育の授業の目標が示されている	50.0% ▲	43.4% ▲	

○体力の状況についての課題

- ・学年あるいは男女によって体力の状況にばらつきがある。
- ・これまで課題としてあがっていた「握力」「反復横とび」「シャトルラン」は結果の向上が見られるが、「50m走」は今後も取組が必要である。
- ・個々の体力・運動能力データのファイリング。
- ・日々の体育の授業を全体に広めるなど、組織的な授業改善への学習が必要である。

3. 取組状況等

- 体育主任を中心とした学校全体での「一校一実践」の推進。
- 体育専科教員を活用した、授業改善及び体力向上を図る。
- ICT機器を活用し、「振り返り」を位置付けた授業展開の推進。
- 子ども同士の学びの場を設定し、運動意欲の向上を図る授業づくり。
- 見合い、教え合い等、児童による主体的な学習展開。

- 運動の日常化を図るための行間体育の実施。
- 体育朝会・リレー大会・全校縦割り班活動など、学校独自の取組を推進。
- 児童会と連携した、児童がつくる活動や行事を計画・実施。

令和2年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 1-2-②

		担当課	学校教育課
施策名	学校教育の充実		
施策の方向	<p>幼児期の教育・保育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う極めて重要なものです。そのため、子どものことを第一に考えながら、質の高い教育・保育の提供、保護者や地域の教育力向上の支援を行うとともに、教育・保育の一体的な運営の推進を図ります。</p> <p>学校教育においては、子どもたちが確かな学力、豊かな心と健やかな体を育成することのできる社会を実現するとともに、信頼される学校・特色ある学校づくりを進めます。</p> <p>さらに学校・家庭・地域が協働し、より一層、開かれた学校づくりを推進します。</p>		
計画内容及び主要な施策	<p>(1) 幼児教育の充実 (2) 確かな学力を育む教育の推進 (3) 健やかな体を育む教育の推進 (4) 豊かな心を育む教育の推進 (5) 地域とともにある学校づくり</p>		

1. 施策指標の進ちょく状況 (指標が複数ある場合は、1指標ごとに作成してください。)

評価	施策指標の名称	単位	R1年度	R2年度	R2目標値	説明等
未	体力・運動能力調査 中学生全国平均以上の割合	%	41.7	未実施	60以上	令和2年度は、コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休業の措置を取り、未実施。

2. 課題等 (令和元年度 体力運動能力等調査・令和2年度 各校体力向上プランより)

○児童生徒・学校質問紙調査結果

中学生(2年)		男子	女子
運動が好き		55.9% ▲	51.3% ▲
体育の授業楽しい		52.5% ▲	48.7% ▲
体育の授業の目標が示されている		66.1% ◎	61.5% ◎

○体力の状況についての課題

- ・「長座体前屈」「立ち幅跳び」などの柔軟性や跳躍力について記録が伸び悩んでいる。特に「遠くに跳ぶ」経験が少なくなっていることがうかがえる。
- ・走力(短距離)や跳躍力などの新たな課題を共有し、対策を協議するとともに、各校の実態に合わせた取組が必要である。
- ・個々の体力・運動能力データのファイリング。
- ・運動をする子とそうでない子の二極化、あるいは適切な運動習慣が身についていない生徒の増加。

3. 取組状況等

- 体育主任を中心とした学校全体での「一校一実践」の推進。
- ICT機器を活用し、「振り返り」を位置付けた授業展開の推進。
- 運動部活動との連携による、日常的な運動習慣の構築。

- 運動部活動に加入していない生徒へのアプローチ。体育の授業を通して運動を楽しむ態度と生涯スポーツへの意欲化を図る。
- 生徒会と連携した運動好きな生徒を育てる取組。
- 規則正しい生活習慣の構築。(食事・運動・睡眠) ➡ スクールヘルスアップ事業の継承
- 生徒指導の3機能を意識した学びの場を設定し、運動意欲の向上を図る。

令和2年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 1-3-①

		担当課	学校教育課
施策名	学校教育の充実		
施策の方向	<p>幼児期の教育・保育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う極めて重要なものです。そのため、子どものことを第一に考えながら、質の高い教育・保育の提供、保護者や地域の教育力向上の支援を行うとともに、教育・保育の一体的な運営の推進を図ります。</p> <p>学校教育においては、子どもたちが確かな学力、豊かな心と健やかな体を育成することのできる社会を実現するとともに、信頼される学校・特色ある学校づくりを進めます。</p> <p>さらに学校・家庭・地域が協働し、より一層、開かれた学校づくりを推進します。</p>		
計画内容及び主要な施策	<p>(1) 幼児教育の充実 (2) 確かな学力を育む教育の推進 (3) 健やかな体を育む教育の推進 (4) 豊かな心を育む教育の推進 (5) 地域とともにある学校づくり</p>		

1. 施策指標の進ちょく状況 (指標が複数ある場合は、1指標ごとに作成してください。)

評価	施策指標の名称	単位	R1年度	R2年度	R2目標値	説明等
D	人権・同和教育研修会開催回数	回	5回	1回	5回	研修会はコロナウイルスの影響で計画通りの開催が困難だった。

2. 課題等

- 校内研修での時間の確保。(各種研修会参加者の校内研修での還流、講師派遣研修等の実施)
- 部落問題学習についての認識と実践不足。
- 仲間づくりや学級づくりについて、若手教員のスキルアップ。
- ベテラン教諭から若手教職員へのスキルや知識の伝承。
- 各関係機関との連携した研修会の開催。
- 家庭・地域と連携した人権・同和教育の推進が必要。
- 校内での児童生徒支援委員会の活性化。

3. 取組状況等

- 人権・同和教育研修会開催を計画的に実施するとともに、その充実を図る。
 - ◆人権教育担当者会・・・・・・・・・・実施できず
 - △管理職研修1回・・・・・・・・・・実施できず
 - ◆人権同和教育研究会夏期講演会・・・コロナウイルス感染拡大防止のため 中止
 - ◆人権同和教育研究会研究大会・・・・1回(R3年1月21日)
- 若手教員研修、スキルアップ研修を計画したが、コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。
- ハイパーQU(学級集団等適応検査)を活用した学級集団づくり。(12月に活用研修会を開催)
- 校内児童生徒支援委員会の開催と充実。
- 専門スタッフ(社会福祉課・スクールソーシャルワーカー・スクールカウンセラー・教育支援センター等)と連携した一人ひとりの困りに応じた支援の推進。またそのための定期的な情報交換会の実施。
- 大分の部落問題学習(県:人権同和教育課)の効果的な活用を進める。
- 県教育委員会人権・部落差別解消推進課と連携した授業改善。

令和2年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 1-4-①

		担当課	学校教育課
施策名	学校教育の充実		
施策の方向	<p>幼児期の教育・保育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う極めて重要なものです。そのため、子どものことを第一に考えながら、質の高い教育・保育の提供、保護者や地域の教育力向上の支援を行うとともに、教育・保育の一体的な運営の推進を図ります。</p> <p>学校教育においては、子どもたちが確かな学力、豊かな心と健やかな体を育成することのできる社会を実現するとともに、信頼される学校・特色ある学校づくりを進めます。</p> <p>さらに学校・家庭・地域が協働し、より一層、開かれた学校づくりを推進します。</p>		
計画内容及び主要な施策	<p>(1) 幼児教育の充実</p> <p>(2) 確かな学力を育む教育の推進</p> <p>(3) 健やかな体を育む教育の推進</p> <p>(4) 豊かな心を育む教育の推進</p> <p>⑤ 地域とともにある学校づくり</p>		

1. 施策指標の進ちょく状況 (指標が複数ある場合は、1指標ごとに作成してください。)

評価	施策指標の名称	単位	R1年度	R2年度	R2目標値	説明等
B	学校・家庭・地域の「協働」に取り組む学校数	校	7/7校	7/7校	7/7校	各校で、地域と連携した特色ある取組が展開できている。
	市内中学生の津久見高校への進学率	%	47.5	45.5	50.0	令和2年度は、市外の公立高校に進学を希望する生徒が増えた。

2. 課題等

<p>○学校評価の結果をどのように分析し、どのように活用・発展させていくかに課題が残る。</p> <p>さらに、課題解決に向けて、学校と家庭・地域とが連携して、どのように取組を進めていくかについても、まだまだ十分に取り組めていない。</p> <p>○家庭・地域に主体性を持たせた取組までには至っていない。</p> <p>○中学校における家庭・地域との協働と地域人材の活用。</p> <p>○生徒数の減少による津久見高校定員の維持・確保の難しさ。</p> <p>○津久見高校の魅力ある学校づくりの実践を広く小中学生や保護者に伝えていく必要がある。</p> <p>○進学実績、部活動の活動実績の向上、啓発。</p>

3. 取組状況等

<p>○学校・家庭・地域の「協働」の柱である「学校運営協議会」の開催 (年間3～4回)</p> <p>○家庭・地域と連携した各種行事の実施。</p> <p>○地域人材や専門機関と連携した授業実践。(総合的な学習の時間を中心に)</p> <p>○地域人材の活用を推進するための地域人材の発掘・育成。</p> <p>○各中学校区のコミュニティースクールの連携。</p>

- 津久見高校地域振興協議会での各種取組の実施。
(①人材育成 ②小中高連携 ③情報発信 ④硬式野球部強化 の 各種事業)
- 市内の小学校や中学校と、各種行事等での交流。
(給食メニューの開発, 英検講座の開設, 「つくみ蔵」の出店など)

令和2年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 2-1-①

		担当課	生涯学習課
施策名	社会教育の充実		
施策の方向	<p>市民が生涯にわたって学び、生きがいや豊かな心を育めるよう学習ニーズを把握し、地域人材の活用によるカリキュラムの充実を図り、生涯学習環境を整えます。図書館については、玄関ホール企画展示の活用等も合わせ、利用しやすい図書館づくりを推進します。</p> <p>また地質資源や文化財、さらには本市の基幹産業などに関する学習機会を提供し、市民誰もが郷土に誇りを持って地域振興に取り組む機運を醸成します。</p>		
計画内容及び主要な施策	<p>① 学習機会の創出</p> <p>(2) 市民に愛される図書館づくり</p> <p>(3) 学術交流活動の推進</p>		

1. 施策指標の進捗状況 (指標が複数ある場合は、1指標ごとに作成してください。)

評価	施策指標の名称	単位	R1年度	R2年度	R2目標値	説明等
C	公民館利用状況	回	1,322	828	1,490	大ホール、講義室、研修室、調理室、和室の利用回数

2. 課題等

公民館は昭和50年に建設され、建物の老朽化が進んでいる状況。
 多くの教室が2階の大ホールであり、階段しかないために高齢者や障がい者の方に不便をかけている現状である。
 駐車場については狭く、多くの台数が止められない。公民館まつり等大きなイベント時には、近隣の企業に協力をいただき対応はしているが、駐車場の確保が課題である。

3. 取組状況等

公民館教室は地域住民にとって最も身近な学習拠点というだけでなく、交流の場として重要な役割を果たしており、年々自主教室も増加傾向にあったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、会議室等の利用制限をしたため、利用件数が大幅に減少した。

令和2年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 2-1-②

	担当課	生涯学習課
施策名	社会教育の充実	
施策の方向	<p>市民が生涯にわたって学び、生きがいや豊かな心を育めるよう学習ニーズを把握し、地域人材の活用によるカリキュラムの充実を図り、生涯学習環境を整えます。図書館については、玄関ホールの企画展示の活用等も合わせ、利用しやすい図書館づくりを推進します。</p> <p>また地質資源や文化財、さらには本市の基幹産業などに関する学習機会を提供し、市民誰もが郷土に誇りを持って地域振興に取り組む機運を醸成します。</p>	
計画内容及び主要な施策	<p>① 学習機会の創出 ② 市民に愛される図書館づくり ③ 学術交流活動の推進</p>	

1. 施策指標の進捗状況 (指標が複数ある場合は、1指標ごとに作成してください。)

評価	施策指標の名称	単位	R1年度	R2年度	R2目標値	説明等
D	公民館教室数	回	13	7	15	女性・成人・その他を対象とした、各公民館教室の開催回数

2. 課題等

高齢者教室等人数が多い教室は、2階大ホールの使用となり階段しかないために、高齢者や障がい者の方に不便をかけている。

子どもから高齢者まで、利用者の声を聞いて、各教室の開催を心掛けているが、なかなか教室の幅が広がっていない。(開催時間・開催内容の検討が必要)

教室を受講していない層へ働きかけるための事業計画・体制づくりが必要である。

3. 取組状況等

令和2年度
わくわく料理教室 俺の料理教室 色えんぴつ画教室 パッチワーク教室
お菓子づくり教室 竹工芸教室 パンづくり教室

短期で開催している教室(扇子踊り教室、フレスコ画教室、郷土料理教室、親子パンづくり教室、親子おし花教室)が、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により開催できなかったため、目標値には程遠い結果となった。

令和2年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 2-2-①

	担当課	生涯学習課
施策名	社会教育の充実	
施策の方向	<p>市民が生涯にわたって学び、生きがいや豊かな心を育めるよう学習ニーズを把握し、地域人材の活用によるカリキュラムの充実を図り、生涯学習環境を整えます。図書館については、玄関ホールの企画展示の活用等も合わせ、利用しやすい図書館づくりを推進します。</p> <p>また地質資源や文化財、さらには本市の基幹産業などに関する学習機会を提供し、市民誰もが郷土に誇りを持って地域振興に取り組む機運を醸成します。</p>	
計画内容及び主要な施策	<p>(1) 学習機会の創出</p> <p>② 市民に愛される図書館づくり</p> <p>(3) 学術交流活動の推進</p>	

1. 施策指標の進ちょく状況 (指標が複数ある場合は、1指標ごとに作成してください。)

評価	施策指標の名称	単位	R1年度	R2年度	R2目標値	説明等
C	蔵書貸出数 (図書館利用者数)	人	44	36	55	1日当たりの貸出冊数 (1日当たりの貸出利用者数)

2. 課題等

図書館資料の年間貸出冊数や貸出利用者数は、年々減少傾向にある。市の人口減少や情報メディアの急速な普及による環境の変化等に加え、近年では新型コロナウイルス感染症の状況もその要因と考えられる。このように激しく社会が変化する中、時間や場所を問わず利用できる電子図書館やインターネット予約サービスの周知・活用促進を図り、図書館や本に興味をもってもらえるような企画や読書イベントの開催、積極的な情報発信など、魅力ある図書館づくりに取り組む必要がある。

3. 取組状況等

- 祝日開館の試行：令和元年6月から継続実施
- インターネット予約環境整備：令和3年3月12日サービス開始
- 電子図書館サービスの導入：令和3年3月26日サービス開始
- 第2次津久見市子ども読書活動推進計画の策定：令和3年3月
- 移動図書館車の運行：51カ所
- 保戸島出張所内図書業務：月1回訪問、資料入替え250冊 (年4回)
- 定例行事・企画展等：
 - おはなし会、アニメ上映会、新刊・企画展示コーナー、玄関ホールの展示活用、就労情報の掲示、本と雑誌の無料配布
 - ※図書館まつり、こどもの読書週間行事等は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- 県内公共図書館、市内各学校との連携：相互貸借の活用、市内各学校への団体貸出
- 広報活動：図書館だより・こどもしつだより、市報、図書館ホームページ、チラシ配布
- 施設整備：駐輪場改修工事、図書館周辺の環境整備

令和2年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 2-3-①

	担当課	生涯学習課
施策名	社会教育の充実	
施策の方向	<p>市民が生涯にわたって学び、生きがいや豊かな心を育めるよう学習ニーズを把握し、地域人材の活用によるカリキュラムの充実を図り、生涯学習環境を整えます。図書館については、玄関ホールでの企画展示の活用等も合わせ、利用しやすい図書館づくりを推進します。</p> <p>また地質資源や文化財、さらには本市の基幹産業などに関する学習機会を提供し、市民誰もが郷土に誇りを持って地域振興に取り組む機運を醸成します。</p>	
計画内容及び主要な施策	<p>(1) 学習機会の創出</p> <p>(2) 市民に愛される図書館づくり</p> <p>③ 学術交流活動の推進</p>	

1. 施策指標の進捗状況 (指標が複数ある場合は、1指標ごとに作成してください。)

評価	施策指標の名称	単位	R1年度	R2年度	R2目標値	説明等
C	地質資源の講演回数	回	6	6	10	津久見の地質等に関する講演会や展示会等、学習機会の提供

2. 課題等

津久見市には広大な石灰石鉱山を始め、長目の蛇紋岩や四浦の珪石・マンガンなど、多種にわたる鉱物や地質が点在しており、「網代島の宇宙塵」や「江ノ浦の隕石衝突の痕跡」等、世界的にも非常に貴重な地質資源もある。津久見市独自の魅力ある地質資源を教育に取り入れる一方で、地元地区と協力して周辺地域の環境の保全に努めるとともに、地球資源活用事業を推進して市内外に向けて情報発信をしていくことが今後の課題である。

3. 取組状況等

令和元年度に作成した津久見市内に分布する地質資源全体を取り上げた副読本「津久見の石まるごとガイドブック」を活用し、図書館でのトピック展や市内3校の小学校での出前講座を行った。

また、網代島に関する取組として、網代島フォトコンテストの開催や図書館の常設コーナー「宇宙と網代島」の設置、図書館ボランティア“たんぼぼ”による網代島の紙芝居の制作等を行った。

令和2年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 3-1-①

	担当課	生涯学習課
施策名	スポーツ・レクリエーション活動の推進	
施策の方向	<p>市民が生涯にわたりスポーツ・レクリエーションに親しみ、その活動を通じて、心身ともに健康な生活が送れるよう地域に密着したスポーツ・レクリエーションの普及、啓発を促進します。また既存施設の改修や充実を図り、スポーツ交流の拠点施設を整備します。</p> <p>競技スポーツの強化においては、各競技の指導者育成と選手強化を目的とした施策を推進していくことで地域の活性化を図ります。</p>	
計画内容及び主要な施策	<p>① 生涯スポーツ・レクリエーションの推進</p> <p>(2) 競技スポーツの強化推進</p>	

1. 施策指標の進ちょく状況（指標が複数ある場合は、1指標ごとに作成してください。）

評価	施策指標の名称	単位	R1年度	R2年度	R2目標値	説明等
C	総合型地域スポーツクラブ参加人数	人	230	185	250	総合型地域スポーツクラブ「エンジョイつくみ」参加人数

2. 課題等

総合型地域スポーツクラブ「エンジョイつくみ」が各スポーツ教室やイベント事業を通じて「新しい公共」を担い、コミュニティの核として市内全域で展開されることをめざし、地域住民の日常的なスポーツ活動の場づくりを推進することが必要である。

また、「エンジョイつくみ」が地域スポーツの担い手としての重要な役割を果たしていけるよう、さらなる育成とその活動の充実を図ることが必要となる。

なお、スポーツの習慣化・健康増進・介護予防等を図るため福祉・保健部門との連携が必要となる。

3. 取組状況等

令和2年度は、16種目を開催し、延べ8,532人の参加があったが、新型コロナウイルスの影響で開催できなかった時期があり昨年度より参加人数は減少となった。

津久見市ホームページにおいて、総合型地域スポーツクラブ「エンジョイつくみ」の会員募集を広報し支援を行っているが、今後も継続して行いたい。

平成27年5月から始まった「おはよう！つくみん体操」も累計890日、延べ24,072人の市民参加となっている。（令和3年6月末日現在）

令和2年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 3-2-①

	担当課	生涯学習課
施策名	スポーツ・レクリエーション活動の推進	
施策の方向	<p>市民が生涯にわたりスポーツ・レクリエーションに親しみ、その活動を通じて、心身ともに健康な生活が送れるよう地域に密着したスポーツ・レクリエーションの普及、啓発を促進します。また既存施設の改修や充実を図り、スポーツ交流の拠点施設を整備します。</p> <p>競技スポーツの強化においては、各競技の指導者育成と選手強化を目的とした施策を推進していくことで地域の活性化を図ります。</p>	
計画内容及び主要な施策	<p>(1) 生涯スポーツ・レクリエーションの推進</p> <p>② 競技スポーツの強化推進</p>	

1. 施策指標の進ちょく状況 (指標が複数ある場合は、1指標ごとに作成してください。)

評価	施策指標の名称	単位	R1 年度	R2 年度	R2 目標値	説明等
B	施設利用件数	件	4,960	4,678	5,250	総合運動公園内の各施設、武道館、市内3グラウンドの利用件数

2. 課題等

老朽化が進んだ既存施設については、市民の声を反映し緊急性や重要性を勘案しながら計画的に改修整備を進め、利便性の向上を図る必要がある。

競技スポーツの強化については、津久見市スポーツ協会に加盟する競技団体がそれぞれ競技力・技術力を競う県民体育大会や各種大会に出場し、地域スポーツの振興と発展に寄与するとともに、多様な交流の機会を創出している。また、国民体育大会を始めとする全国のレベルで本市出身の選手やチームが活躍できるよう指導体制の整備を図り、競技力の向上、選手の育成に努めトップレベル競技者の育成を推進するためスポーツ協会と加盟する競技団体とが連携強化を図る必要がある。

3. 取組状況等

施設利用件数については、新型コロナウイルスの影響で休館の時期があり昨年度より減少となった。また、スポーツ・レクリエーション活動やスポーツ少年団活動については、コロナ感染拡大防止の観点から、町内対抗ナイターソフトボール大会など各種スポーツイベント等が開催することが出来なかった。

施設整備については、老朽化した学校屋外運動場照明灯撤去や市民野球場漏水修繕、市民体育館自動火災報知設備改修工事を行った。

令和2年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 4-1-①

		担当課	生涯学習課
施策名	青少年の健全育成		
施策の方向	<p>家庭教育は全ての教育の出発点であり、基本的倫理感や社会的マナー、自制心、自立心等を育成する上で重要な役割を果たすことを啓発し、健全な家庭環境づくりを推進します。</p> <p>さらに、学校・家庭・地域社会が連携・協働によるネットワークの強化を図り、それぞれの機能を発揮し、その役割を分担しながら、今後の青少年たちの健全育成を推進します。</p>		
計画内容及び主要な施策	<p>① 健全な家庭環境づくり</p> <p>② 学校教育と連携した地域ぐるみの育成活動</p> <p>③ 青少年の見守り活動の充実</p>		

1. 施策指標の進ちょく状況（指標が複数ある場合は、1指標ごとに作成してください。）

評価	施策指標の名称	単位	R1年度	R2年度	R2目標値	説明等
A	非行少年等の補導件数	件	5	0	0	津久見市在住の青少年が補導された数

2. 課題等

津久見市青少年健全育成市民会議を中心に、青少年に関わる大人の意識醸成や地域ぐるみで青少年を見守るための環境づくりを進め、非行少年等の補導件数ゼロを目指していく。

また、近年ではスマートフォンやSNSの急速な普及によってインターネット利用環境が一層多様化し、青少年が有害な情報に簡単に触れうる機会も増えている。また、県下ではインターネットを介して見知らぬ他人との接触機会が生じた結果、自撮り被害などのトラブルや犯罪に巻き込まれてしまうケースも出てきている。こうしたネットトラブルやそれに起因する犯罪から青少年を守るためにも、学校・家庭・地域が連携し、インターネットの正しい使い方や通信機器の使用上のルールを呼びかけて徹底するなど、常日頃からの啓発が重要である。

3. 取組状況等

1. イベント時の見守り活動
各学校のPTAや幹部交番が見守り活動を実施。

2. 津久見市青少年健全育成市民会議総会
例年、地域で青少年を見守るための取り組みについて、市内の青少年関係団体と確認を行っているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により書面開催となった。

3. 子どもの安全を考える市民講演会
開催日：令和2年11月25日（水）
演題：「児童虐待防止・子どもの貧困対策について」
講師：大分県福祉保健部こども・家庭支援課 課長 河野 洋子 氏
参加者：20名

令和2年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 4-2-①

	担当課	生涯学習課
施策名	青少年の健全育成	
施策の方向	<p>家庭教育は全ての教育の出発点であり、基本的倫理感や社会的マナー、自制心、自立心等を育成する上で重要な役割を果たすことを啓発し、健全な家庭環境づくりを推進します。</p> <p>さらに、学校・家庭・地域社会が連携・協働によるネットワークの強化を図り、それぞれの機能を発揮し、その役割を分担しながら、今後の青少年たちの健全育成を推進します。</p>	
計画内容及び主要な施策	<p>(1) 健全な家庭環境づくり</p> <p>② 学校教育と連携した地域ぐるみの育成活動</p> <p>(3) 青少年の見守り活動の充実</p>	

1. 施策指標の進ちょく状況 (指標が複数ある場合は、1指標ごとに作成してください。)

評価	施策指標の名称	単位	R1年度	R2年度	R2目標値	説明等
B	子ども連絡所設置箇所数	箇所	322	314	380	子どもが困った時にいつでも助けてくれる家庭や店舗・施設等の数

2. 課題等

地域のどの場所に子ども連絡所があるのかについて、周知の幅を広げて子ども・大人双方に存在を広く浸透させる必要がある。また、子どもが地域でのびのびと育っていけるよう、関係各所と連携して、子ども連絡所として協力していただける家庭や事業所を増やしていくことが必要である。

3. 取組状況等

津久見市防犯暴力絶滅対策協議会・津久見市連合PTA・津久見市青少年健全育成市民会議・臼杵津久見警察署が連携して取り組んでいる。

○令和2年度の子ども連絡所箇所数 (内訳)

- ・第一中学校区…160カ所 (津久見小、千怒小、第一中)
- ・第二中学校区…146カ所 (堅徳小、青江小)
- ・離島…8カ所 (=保戸島小)

令和2年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 4-2-②

	担当課	生涯学習課
施策名	青少年の健全育成	
施策の方向	<p>家庭教育は全ての教育の出発点であり、基本的倫理感や社会的マナー、自制心、自立心等を育成する上で重要な役割を果たすことを啓発し、健全な家庭環境づくりを推進します。</p> <p>さらに、学校・家庭・地域社会が連携・協働によるネットワークの強化を図り、それぞれの機能を発揮し、その役割を分担しながら、今後の青少年たちの健全育成を推進します。</p>	
計画内容及び主要な施策	<p>(1) 健全な家庭環境づくり</p> <p>② 学校教育と連携した地域ぐるみの育成活動</p> <p>(3) 青少年の見守り活動の充実</p>	

1. 施策指標の進ちょく状況 (指標が複数ある場合は、1指標ごとに作成してください。)

評価	施策指標の名称	単位	R1年度	R2年度	R2目標値	説明等
E	土曜寺子屋つくみ塾	人	85	18	160	子どもたちの学習習慣の定着と基礎学力の向上を目指して地域ぐるみで取り組むもの

2. 課題等

年々、講師（地域ボランティア）の人数が減少しており、子どもたち一人ひとりに十分な指導が行き届かない状況が出てきていることから、新たなボランティアの増員や大分大学の学生との連携強化に努め、よりきめ細やかな支援を行うための体制づくりが課題となっている。

また、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から11月からの実施となり、学校を会場として使用できなかったこと等から、例年よりもかなり参加児童が少ない状況となった。今後も感染症の動向を見ながら対策等を講じ、子どもたちや講師が安心して参加できる環境を整えていく必要がある。

3. 取組状況等

対象：津久見市内の各小学校の3～6年生

実施数：通常の学習支援活動は4回実施（新型コロナウイルス感染症対策により1回中止）。

実施日：原則第3土曜日の10：00～12：00

内容：国語と算数の補充学習
※例年は、漢字検定・算数検定のチャレンジに向けた学習

場所：津久見市公民館
※例年は、保戸島小学校を除く市内4小学校

講師：地域ボランティア

体験学習：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

令和2年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 4-3-①

	担当課	生涯学習課
施策名	青少年の健全育成	
施策の方向	<p>家庭教育は全ての教育の出発点であり、基本的倫理感や社会的マナー、自制心、自立心等を育成する上で重要な役割を果たすことを啓発し、健全な家庭環境づくりを推進します。</p> <p>さらに、学校・家庭・地域社会が連携・協働によるネットワークの強化を図り、それぞれの機能を発揮し、その役割を分担しながら、今後の青少年たちの健全育成を推進します。</p>	
計画内容及び主要な施策	<p>(1) 健全な家庭環境づくり</p> <p>(2) 学校教育と連携した地域ぐるみの育成活動</p> <p>③ 青少年の見守り活動の充実</p>	

1. 施策指標の進ちょく状況 (指標が複数ある場合は、1指標ごとに作成してください。)

評価	施策指標の名称	単位	R1年度	R2年度	R2目標値	説明等
A	学校支援ボランティア数	人	7,163	5,605	3,800	登下校時の交通安全や学校の授業にゲストティーチャーとして参加したボランティアの人

2. 課題等

現在は基本的に地域ボランティアと各学校が直接やり取りすることで活動が行われており、どの学校も支援活動が定着している。しかし、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の状況から、地域住民をゲストティーチャーとして活用する事業が例年と比べて実施できなかったこともあり、ボランティア数は減少している。

今後は感染症の状況を踏まえながら、ボランティアの安定した参加を目指すとともに、新規参加者を確保することでより充実した支援を目指していくことが課題となる。

また、行政が地域や学校とより連携を深め、地域人材に関する情報や課題を共有していくことも必要である。

3. 取組状況等

令和2年度の市内の各小中学校における学校支援ボランティアの活動内容は以下のとおり

- 登下校安全指導
- 学習支援活動 (国語、理科、社会、外国語、保健体育、音楽、図画工作 (美術)、技術家庭、総合的な学習、生活、読み聞かせ等)
- 部活動指導 (運動系)
- 環境整備 (施設・備品等の補修や清掃、花壇や植木の剪定)
- 学校行事 (運動系)

令和2年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 5-1-①

	担当課	生涯学習課
施策名	地域文化の伝承と芸術文化活動の充実	
施策の方向	<p>津久見市文化協会をはじめ、その他市民文化団体等と連携を図り、市民生活を楽しめる文化的環境づくりに向け、芸術に親しむ心の醸成や活動意欲の高揚のために、市民文化活動の支援の充実や芸術文化鑑賞機会の拡大に努めます。</p> <p>伝統芸能に関しては、後継者の育成を図るとともに、地域の伝統芸能保存団体や関係機関と連携を図り、保存・継承・活用に努めます。</p>	
計画内容及び主要な施策	<p>① 市民の文化・芸術活動の支援</p> <p>(2) 伝統文化及び文化財の保存と継承</p> <p>(3) 文化施設の有効活用</p>	

1. 施策指標の進ちょく状況（指標が複数ある場合は、1指標ごとに作成してください。）

評価	施策指標の名称	単位	R1年度	R2年度	R2目標値	説明等
E	観劇会イベント参加者数	人	337	201	1,600	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は「徳永ゆうきコンサート」の1事業のみとしたため、年間を通しての入場者数は例年よりも大幅に減少した。

2. 課題等

これまでどおりの安価な料金で会員のニーズに合った催し物の選定が求められる一方で、決算時には赤字にならないような料金設定も考える必要がある。また、魅力的な事業を提供することで新規会員の確保を目指していくことも重要である。

3. 取組状況等

○「徳永ゆうきコンサート with 山下靖喬」
 令和3年3月28日（日）14：00～市民会館大ホール
 入場者数 201名
 入場料 2,000円（全席指定）
 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、観客席を半数に設定

令和2年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 5-1-②

	担当課	生涯学習課
施策名	地域文化の伝承と芸術文化活動の充実	
施策の方向	<p>津久見市文化協会をはじめ、その他市民文化団体等と連携を図り、市民生活を楽しめる文化的環境づくりに向け、芸術に親しむ心の醸成や活動意欲の高揚のために、市民文化活動の支援の充実や芸術文化鑑賞機会の拡大に努めます。</p> <p>伝統芸能に関しては、後継者の育成を図るとともに、地域の伝統芸能保存団体や関係機関と連携を図り、保存・継承・活用に努めます。</p>	
計画内容及び主要な施策	<p>① 市民の文化・芸術活動の支援</p> <p>② 伝統文化及び文化財の保存と継承</p> <p>③ 文化施設の有効活用</p>	

1. 施策指標の進ちょく状況（指標が複数ある場合は、1指標ごとに作成してください。）

評価	施策指標の名称	単位	R1年度	R2年度	R2目標値	説明等
C	市民会館利用状況	件	1,443	1,125	1,600	会議室やホール等、会館の利用件数

2. 課題等

令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止を目的とし、年度当初から5月17日までの間、市民会館を休館したことで、前年度と同様利用件数が減少した。

新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえつつ、5月18日からは、感染拡大防止ガイドラインの順守を図る等の対策を講じながら、貸館業務の再開を行ったところである。

今後も、新型コロナウイルス感染症の動向を注視しながら、施設利用者が少しでも安心して利用できるための対策をより一層講じていくことで、貸館業務を継続していく予定である。

また、市民会館は数年前に大規模改修を行い、エレベーター・トイレ・駐車場等が利用しやすくなったものの、改修をしなかった箇所等の修繕が多くなってきている。

3. 取組状況等

平成30年度から文化協会加盟団体等に対して使用料減免制度を設け、利用者が利用しやすい会館づくりに努めている。

新型コロナ感染症対策として、利用者が検温するための検温サーマルカメラの設置等を行っている。

令和2年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 5-2-①

	担当課	生涯学習課
施策名	地域文化の伝承と芸術文化活動の充実	
施策の方向	<p>津久見市文化協会をはじめ、その他市民文化団体等と連携を図り、市民生活を楽しめる文化的環境づくりに向け、芸術に親しむ心の醸成や活動意欲の高揚のために、市民文化活動の支援の充実や芸術文化鑑賞機会の拡大に努めます。</p> <p>伝統芸能に関しては、後継者の育成を図るとともに、地域の伝統芸能保存団体や関係機関と連携を図り、保存・継承・活用に努めます。</p>	
計画内容及び主要な施策	<p>(1) 市民の文化・芸術活動の支援</p> <p>② 伝統文化及び文化財の保存と継承</p> <p>(3) 文化施設の有効活用</p>	

1. 施策指標の進ちょく状況 (指標が複数ある場合は、1指標ごとに作成してください。)

評価	施策指標の名称	単位	R1年度	R2年度	R2目標値	説明等
C	文化団体数	団体	31	26	35	市文化協会加盟団体数

2. 課題等

人口減少に伴い、会員の高齢化と若年層の団体活動が希薄になっており、会員の減少が進んでいる。

活動のPRや広報を通して、個人・団体会員の拡大と、新たな分野の芸術文化活動の充実や「青少年、次世代の支援」と文化に触れる機会の提供などが必要。

3. 取組状況等

市文化協会は令和2年に設立50周年を迎え、会員の区分を個人、賛助会員を新たに設け、組織強化と拡大を図ってきた。

令和2年度は設立50周年という節目の年で市文化祭の準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、やむなく規模を縮小せざるを得なくなり、会員発表会という形式に変更した。コロナ禍の中、各団体も活動自粛を余儀なくされ、最小限の活動となり、市内外で延べ11団体(7回)の活動が報告されている。(総会資料 事業活動実績から)

令和2年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 5-3-①

	担当課	生涯学習課
施策名	地域文化の伝承と芸術文化活動の充実	
施策の方向	<p>津久見市文化協会をはじめ、その他市民文化団体等と連携を図り、市民生活を楽しめる文化的環境づくりに向け、芸術に親しむ心の醸成や活動意欲の高揚のために、市民文化活動の支援の充実や芸術文化鑑賞機会の拡大に努めます。</p> <p>伝統芸能に関しては、後継者の育成を図るとともに、地域の伝統芸能保存団体や関係機関と連携を図り、保存・継承・活用に努めます。</p>	
計画内容及び主要な施策	<p>(1) 市民の文化・芸術活動の支援</p> <p>(2) 伝統文化及び文化財の保存と継承</p> <p>③ 文化施設の有効活用</p>	

1. 施策指標の進ちょく状況 (指標が複数ある場合は、1指標ごとに作成してください。)

評価	施策指標の名称	単位	R1年度	R2年度	R2目標値	説明等
A	指定文化財	件	34	35	30	武速神社イロハモミジを津久見市指定天然記念物に指定。

2. 課題等

文化財については、ひとつの文化財を単独で捉えるだけでなく、歴史・民族・自然などを地域の中で位置づけ、総合的なものの中で見ていくことが重要視されており、これまで地域の文化財マップ等を設置してきた。今後も地域の文化財や自然を総合的に捉える取組を継続していくことが重要。また、少子化や高齢化、社会環境・生活環境の変化で価値観が希薄になり、維持、保護が困難になりつつあるため、指定文化財を中心として管内の文化財の現状を把握し、保護に努めることが重要。

伝統芸能については、少子高齢化の進展に伴った後継者不足により保持団体の維持が困難になっているので、後継者の育成が重要課題。また、用具や衣装等の購入のための資金調達のむずかしさもうかがえるため、保持団体と協議しながら順次助成に向けた取組を継続していくことが重要。

3. 取組状況等

文化財 看板設置 (武速神社イロハモミジの案内板)

伝統芸能

- 令和2年度伝統文化親子教室に津久見扇子踊り保存会が採択。
- 2021年度ニッセイ財団「児童・少年の健全育成助成」に堅浦古典芸能保存会神楽部が申請し、採択されている。